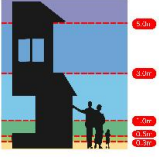


6 明和町 高潮ハザードマップ

令和2年9月作成

洪水浸水深凡例	避難行動	浸水深区分
<p>浸水が想定されるおそれのある区域</p> <p>洪水浸水深区分</p> <p>浸水想定区域外</p>	<p>最上階が浸水するおそれがあることから、緊急の避難行動が求められる</p> <p>床下・地下等が浸水するおそれがあるため、建物内から避難行動が求められる</p> <p>このハザードマップでは浸水想定区域のうち、浸水想定区域以外に指定されている区域は、浸水想定区域外と表示する。</p>	<p>5.0m以上の浸水</p> <p>3.0～5.0m 水溝の深さ</p> <p>1.0～3.0m 浸水の区画</p> <p>0.5～1.0m 浸水の区画</p> <p>0.3～0.5m 浸水の区画</p> <p>0.3m 浸水の区画</p>

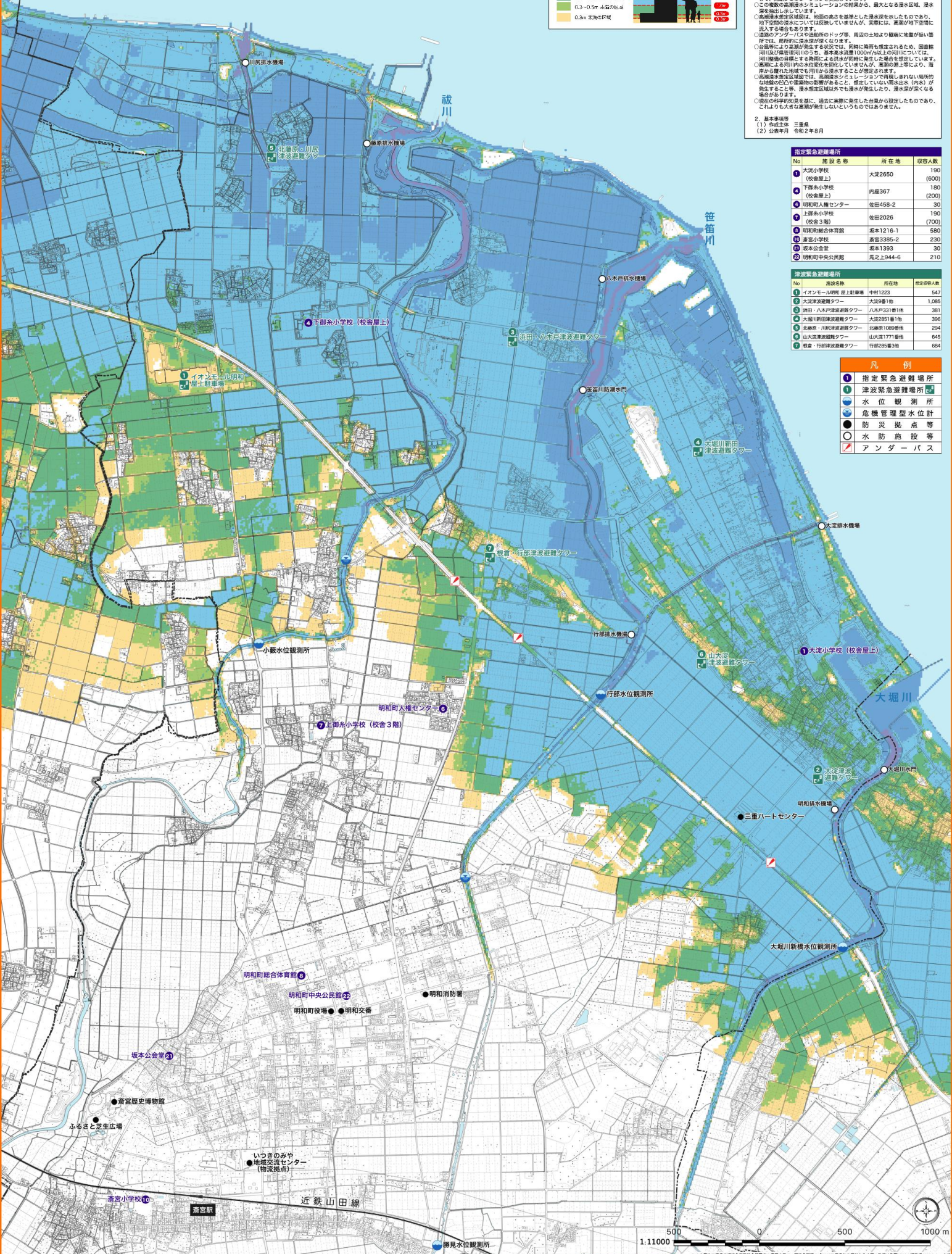


伊勢湾沿岸高潮浸水想定区域図(浸水区域及び浸水深)について

1. 説明文
 - 高潮浸水想定区域とは、水防法(昭和34年法律第16号)第14条の3に基づき、高潮による最大規模の高潮による浸水が発生した場合に、浸水が想定される区域(浸水区域)、および浸水想定区域に含まれる浸水の深さ(浸水深)を指定するものである。
 - 高潮浸水想定区域の作成にあたっては、最新の情報を想定し、日本に上陸した高潮浸水想定区域は、伊勢湾、太平洋の各地域に大きな影響を有する高潮の発生を想定し、浸水・浸水深は浸水想定区域に含まれる浸水想定区域として、高潮シミュレーションを実施しています。
 - この浸水深の高潮浸水想定区域は、最大となる浸水区域、浸水深を抽出して示しています。
 - 高潮浸水想定区域は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下空間の浸水については浸水深が1000mm以上を別にしています。
 - 道路のアダプト(段差)や歩道のドッグ等、周辺の地形や施設に浸水想定区域は、場所により浸水深が深くなります。
 - 高潮による浸水が発生する状況では、同時に風雨も想定されるため、田圃、畑、川川、田んぼ等に関する浸水による浸水が発生した場合を想定しています。
 - 高潮による浸水の浸水想定区域は、想定している浸水深(浸水深)が、海岸から離れた地域でも浸水することが想定されます。
 - 高潮浸水想定区域では、高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な浸水の高潮浸水想定区域があること、想定している浸水深(浸水深)が発生すること、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
 - 現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。

2. 基本事項等

- (1) 作成主体 三重県
- (2) 公表年月 令和2年9月



指定緊急避難場所

No.	施設名称	所在地	収容人数
①	大淀小学校(校舎屋上)	大淀2650	190(600)
②	下野糸小学校(校舎屋上)	内藤367	180(200)
③	明和町人権センター	佐田458-2	30
④	上野糸小学校(校舎3階)	佐田2026	190(700)
⑤	明和町総合体育館	坂本1216-1	580
⑥	湊宮小学校	湊宮3385-2	230
⑦	坂本公会堂	坂本1393	30
⑧	明和町中央公民館	高上944-6	210

津波緊急避難場所

No.	施設名称	所在地	収容人数
①	イオンモール明和(地下駐車場)	中村1223	547
②	大淀津波避難タワー	大淀367番1地	1,085
③	内藤・八木津波避難タワー	八木333番1地	381
④	大堤津波避難タワー	大堤2851番1地	396
⑤	北郷津波避難タワー	北郷1099番地	294
⑥	山田津波避難タワー	山田大津1771番地	645
⑦	坂本・行部津波避難タワー	小郡285番3地	684

凡例

①	指定緊急避難場所
②	津波緊急避難場所
●	水位観測所
●	危機管理型水位計
●	防災拠点等
○	水防施設等
⬇	アンダーパス

500 0 500 1000 m

1:11000

この図表は三重県防災危機管理センターの委託を受けて、国土計画部が2017年度公共アタラクタ事業(数値解析200(浸水想定区域))に基づき作成したものであります。(作成主体:三重県防災危機管理センター)作成を担当する関係機関や関係機関の協力を得たものであります。